

# Leica DISTO™ X4

The original laser distance meter



- when it has to be **right**

*Leica*  
Geosystems

概要 .....	2
テクニカルデータ .....	4
セットアップ .....	6
セッティング .....	10
オペレーション .....	26
メッセージコード .....	52
注意 .....	53
保証 .....	54
安全上のご注意 .....	55

## コンポーネント

Leica DISTO™はクラス2レーザーを使用するレーザー距離計です。製品使用に関する情報は、[テクニカルデータ](#)を参照してください。



1 ディスプレイ

2 オン/測定

3 クリア/オフ

4 ズーム/上に移動

5 加算/左に移動

6 決定 / イコール

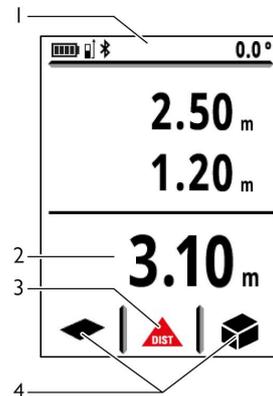
7 画面表示シンボル選択キー

8 機能

9 減算/右に移動

10 測定基準/下に移動

## 基本結果画面



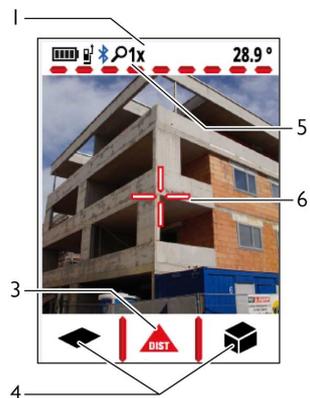
1 ステータスバー

2 メイン行

3 アクティブ ファンクション

4 お気に入り(よく使う機能)

## 基本測定画面



1 ステータスバー

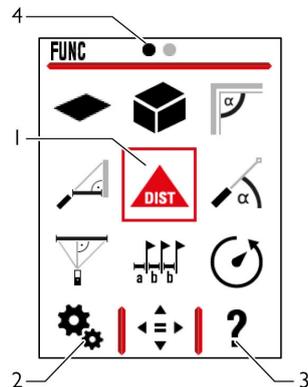
3 アクティブ ファンクション

4 お気に入り(よく使う機能)

5 ズーム段階

6 十字線

## 選択画面



1 機能/設定

2 設定

3 ヘルプ機能

4 ページ数 インジケータ

## ステータスバーのアイコン

- ▼ 下にスクロールし、詳細情報の表示
- 🔋 バッテリー残量表示
- 📶 Bluetooth®スイッチオン
- 📶 Bluetooth®接続の確立
- 📏 測定基準
- 🕒 測定中
- ⚠️ オフセット時には、測距結果から設定値を加算/減算
- 📏 本体が水平状態
- 📏 本体が水平でない状態
- 🔍 ズーム

## 一般情報

適切な条件での測距精度 *	1 mm***
不適切な条件での測距精度 **	2 mm***
適切な条件での測距範囲 *	0.05 - 150m***
不適切な条件での測距範囲 **	0.05 - 80m***
最小測定単位	0.1 mm
X-Range Power Technology	有
レーザークラス	2
レーザータイプ	635 nm, <1 mW
レーザードットの径 距離	6 /30 /60 mm   10/ 50/ 100 m
レーザービームに対する傾斜測定公差****	± 0.2°
ハウジングに対する傾斜測定公差****	± 0.2°
傾斜測定範囲****	360°
Leica DST 360の測定範囲 (水平)*****	360°
Leica DST 360の測定範囲 (垂直)*****	-64° ~ >90°
2点間距離機能の公差*****	± 2 mm / 2 m   ± 5 mm / 5 m   ± 10 mm / 10 m
保護等級	IP65 (耐じんあい、耐噴流 / water jet)
自動レーザーオフ	90秒後
自動電源オフ	180秒後
Bluetooth® Smart	Bluetooth® v4.0
Bluetooth® Smartの電力	0.71 mW
Bluetooth® Smartの周波数	2400 ~ 2483.5 MHz
Bluetooth® Smartの範囲	10メートル未満

\* 適切な条件とは、白の反射板(白塗りの壁)、周囲に強い光がなく、一般的な生活可能範囲の温度状態です。

\*\* 不適切な条件とは、反射率が低過ぎる/高過ぎる、周辺の光が強過ぎる、温度が温度範囲の最大値、最小値にある状態です。

\*\*\* 公差は95%の信頼性で、0.05mから10mの範囲に適用されます。

適切な条件下で使用した場合の許容値は、10mを超える距離では、0.10mm/mの交差が発生する場合があります。

不適切な条件下で使用した場合の許容値は、10mを超える距離では、0.15mm/mの交差が発生する

場合があります。

\*\*\*\* ユーザーによるキャリブレーション後の値: 室内温度において、1°あたり±0.01°の誤差が、各4分円の±45°まで生じます。

使用可能温度範囲において、全稼働状態での温度範囲は最大でずれが±0.1°上昇します。

\*\*\*\*\*Leica DST 360アダプタとの組み合わせ。

## テクニカルデータ

電源 (単3形電池x2本)	4000回までの測定
本体サイズ(HxDxW)	132 x 56 x 29 mm
重量 (電池含)	188 g / 6.63 oz
温度範囲 保管   作動	-25 から 70°C   -10 から 50°C

### 機能

距離測定	有
最小値 / 最大値測定	有
連続測定	有
ステイクアウト	有
加算 / 減算	有
面積測定	有
部屋の角度	有
体積測定	有
室内寸法測定	有
ピタゴラス	3ポイント
スマート水平モード / 非直線の高さ	有
水平	有
メモリー	有
ビーブ音	有
照明付きカラーディスプレイ	有
Bluetooth® Smart	有
お気に入り任意設定	有
タイマー	有
Point to Point 機能 / 距離	有 *****
Smart Area 測定	有 *****
ハイト (高さ) トラッキング	有

\*\*\*\*\*Leica DST 360アダプタを使用する

## 概要

ご使用になられる前に、必ず、安全上のご注意(安全上のご注意参照)とユーザーマニュアルを、よくお読みください。

製品の管理者は、すべてのユーザーがこれらの指示に従い、遵守するように管理してください。

使用される記号の意味は次のとおりです。

### 警告

死亡や重症を引き起こす可能性のある危険な状態または不適切な使用を示します。

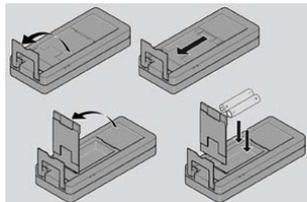
### 注意

傷害、材質的、金銭的および環境の損害を引き起こす可能性のある危険な状態または不適切な使用を示します。

 技術的に正しく効果的な方法で製品を使用するため、厳守すべき事項を示します。

## 電池の挿入

- i** 高品質アルカリ電池の使用を推奨します。電池残量のアイコンが点滅した時には、電池交換して下さい。

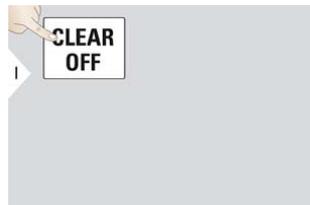


## オン/オフ スイッチ

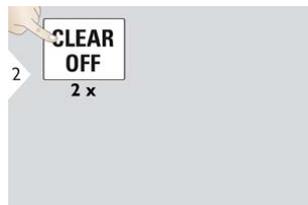


電源オフ

## クリア



一つ前の操作に戻る



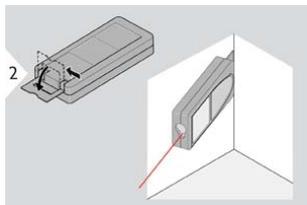
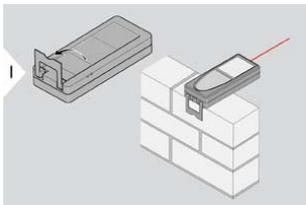
測定を終了し、デフォルト画面に戻る

## メッセージコード

**i** メッセージの「i」が数字で表示された場合、**メッセージコード**セクションの指示を従ってください。(例)



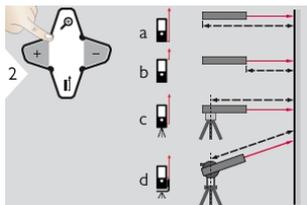
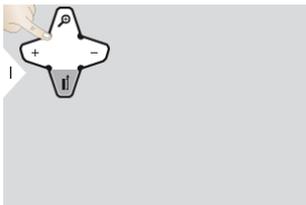
## 多機能エンドピース



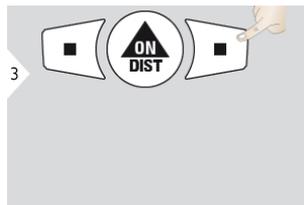
**i** エンドピースを90°開いて測定する時は、端にしっかりと固定して実行してください。

**i** エンドピースは自動検知され、測定基準のゼロポイントが決定されます。

## 測定基準設定

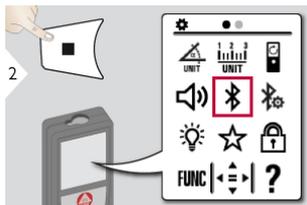
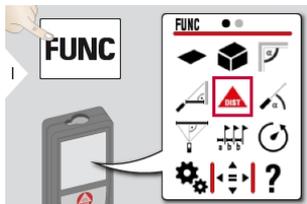


- a) 本体後端から距離測定 (標準設定)
- b) 本体前端から距離測定
- c) 三脚ネジ穴から距離測定
- d) アダプターFTA360から距離測定



**i** 本体の電源がオフになると、測定基準は標準設定位置 (本体後端) に戻ります。

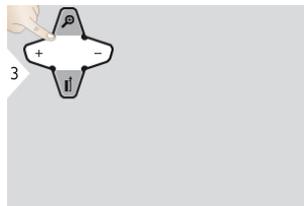
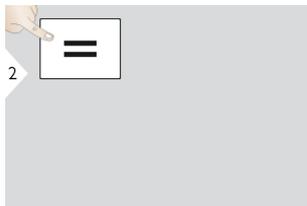
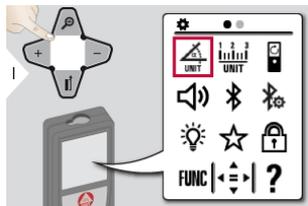
## 概要



-  傾斜単位
-  距離単位
-  画面の回転\*\*
-  ビープ音
-  Bluetooth®
-  Bluetooth®の設定
-  照度
-  ☆ お気に入り(よく使う機能)
-  キーボードロック
-  チルトセンサーキャリブレーション
-  i 情報/シリアル番号
-  オフセット
-  リセット

\*\*この機能を利用するには、[Leica DISTO™Plan App](#)を使用してファームウェアのアップデートが必要な場合があります

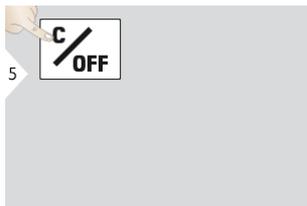
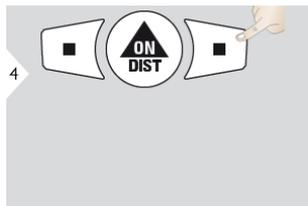
## 傾斜単位



単位の切替:

360.0°

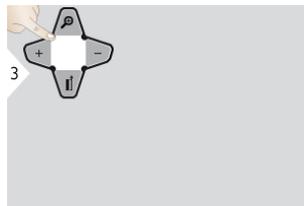
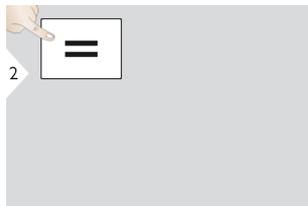
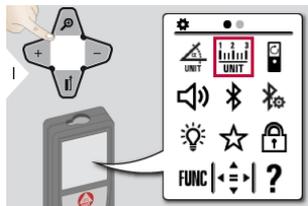
0.00 %



確定

終了

## 距離単位



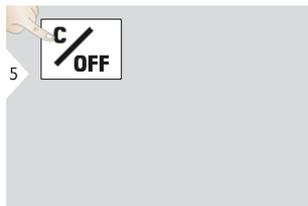
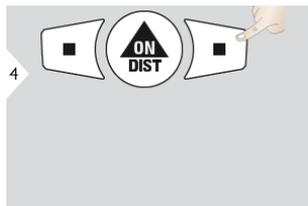
単位の切替:

0.00 m

0.000 m

0.0000 m

0.0 mm

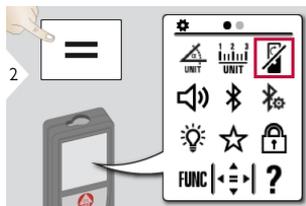
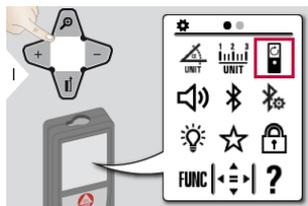


確定

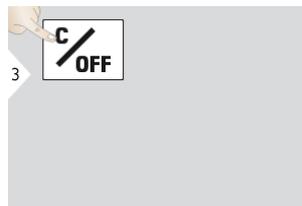
終了

## 画面の回転ON/OFF\*

\*この機能を利用するには、[Leica DISTO™Plan App](#)を使用してファームウェアのアップデートが必要な場合があります。

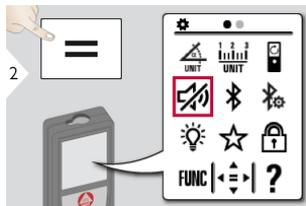
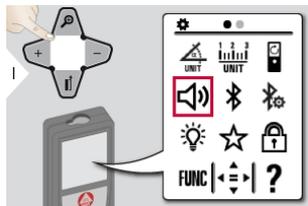


同様の手順で、スイッチオン

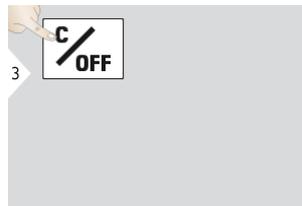


終了

## ビープ音 ON/OFF

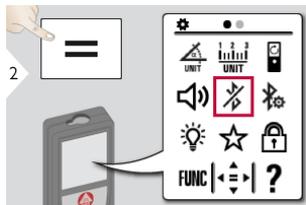
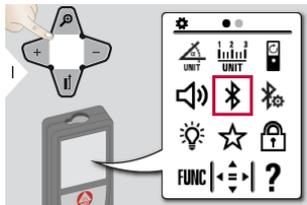


同様の手順で、スイッチオン

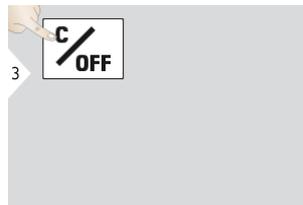


終了

## Bluetooth®ON/OFF



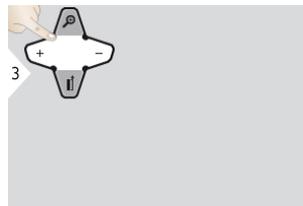
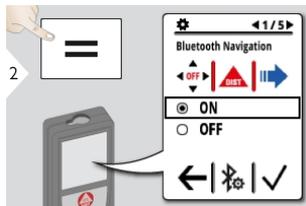
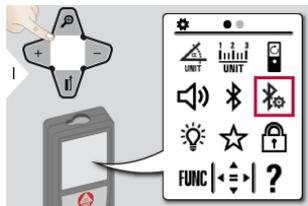
同様の手順で、スイッチオン



終了

**i** Bluetooth®がオンになり、ステータスバーに黒色のBluetooth®アイコンが表示されます。接続が確立すると、アイコンが青色に変わります。

## Bluetooth®の設定



ON、OFFの選択。

**i** デバイスが接続されていると、お気に入りが消えて2つのソフトキーが表示されます。

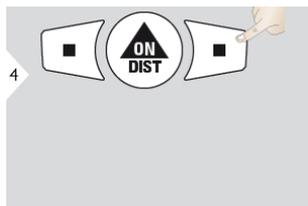


測定モードでオンにすると、矢印キーを使用して、コンピューター上のカーソルを動かすことができます。

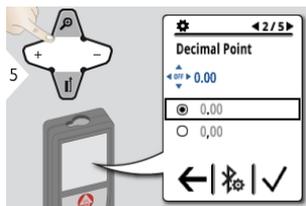


短押し: メイン表示行の数値を、転送します。

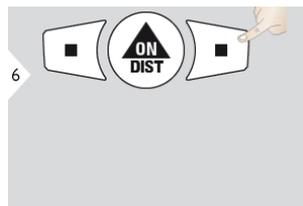
長押し: すべての測定結果をコンピュータに送信します。



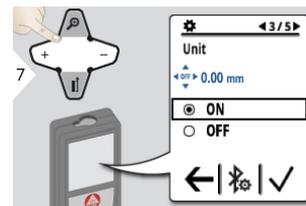
確定



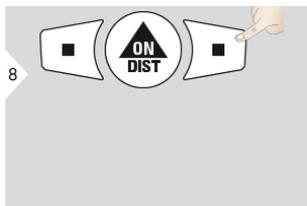
送信値の小数点の種類を選択。



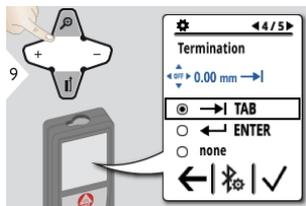
確定



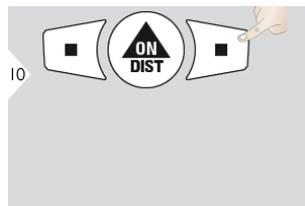
単位の送信有無を選択。



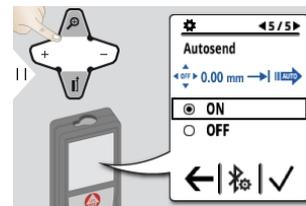
確定



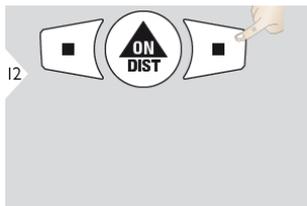
送信の終端を選択。



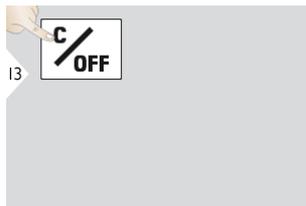
確定



自動転送かマニュアル転送の選択。

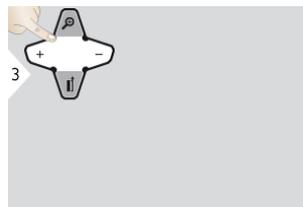
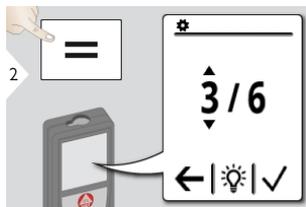
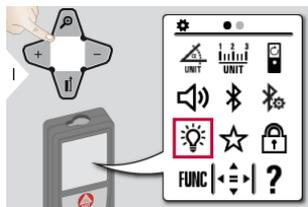


確定



終了

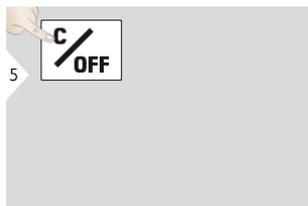
## 照度



照度の選択



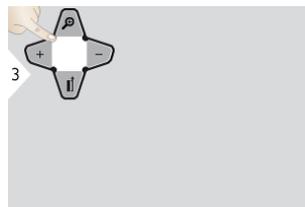
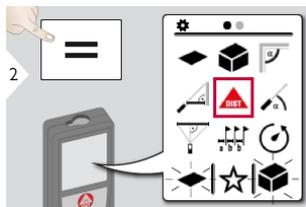
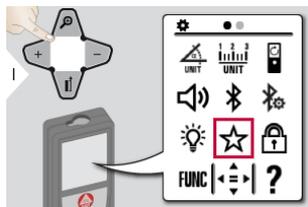
確定



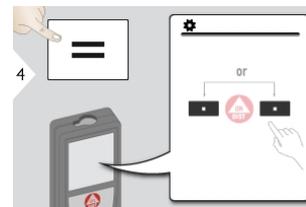
終了

**i** 必要な時以外は、照度を下げると、電源の節約になります。

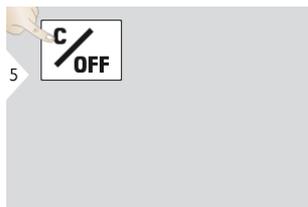
## お気に入り任意設定



お気に入り(よく使う機能)の選択



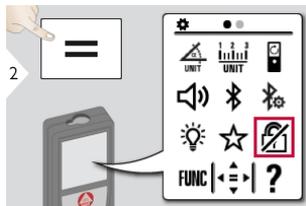
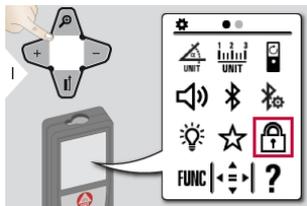
選択キー左/右の押下。選択キーお気に入り登録の完了



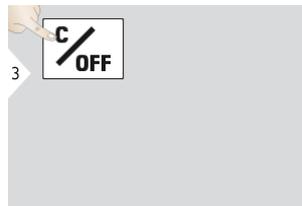
終了

- i** お気に入り(よく使う機能)を選択します。  
ショートカット:  
測定モード時に、選択キーを2秒間押します。お気に入りの機能を選び、対応するセクション・キー上のショートを再度押してください。

## キーロック 非アクティブ化/アクティブ化

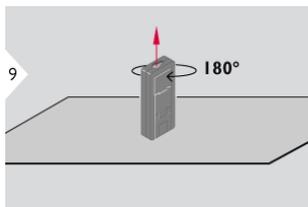


同様の手順で非アクティブ化、本体の電源 Off でキーロックのアクティブ化



終了



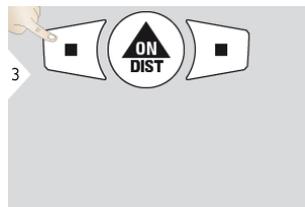
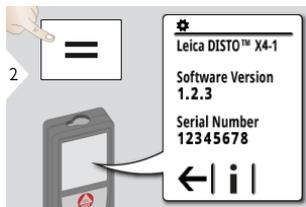
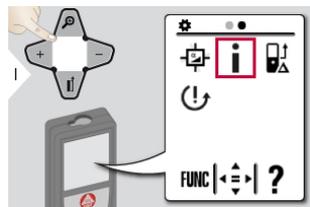


同じ場所で、本体を180°回転

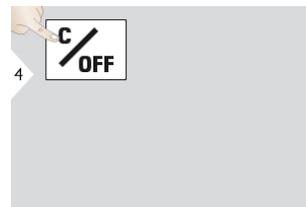


**i** 2秒後に通常の測定モードに戻ります。

## 情報

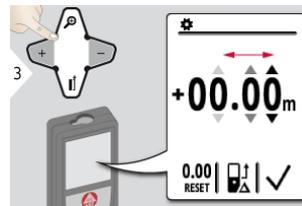
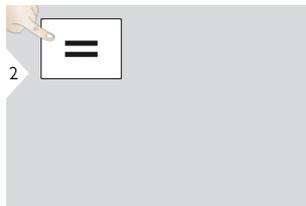
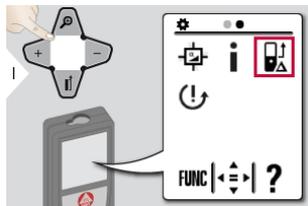


情報画面の終了。

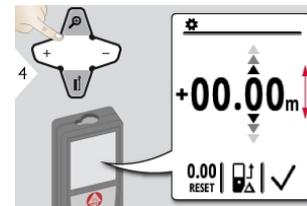


終了

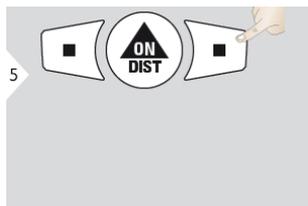
## オフセット



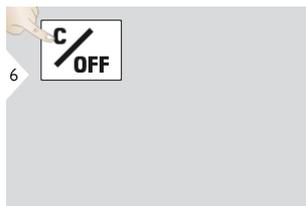
数値の設定



数値の最終調整



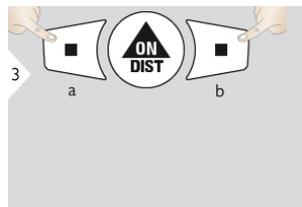
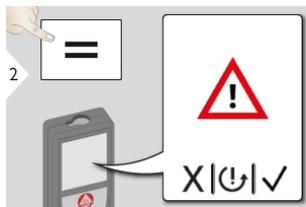
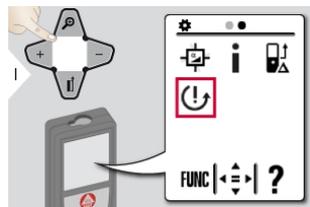
確定



終了

**i** オフセット設定後は、すべての測定結果から設定した数値を加算、減算された数値が表示されます。このファンクションで、許容値を考慮した測定結果を表示することができます。オフセットのアイコンがディスプレイに表示されます。

## リセット



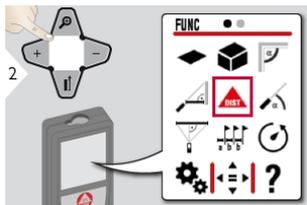
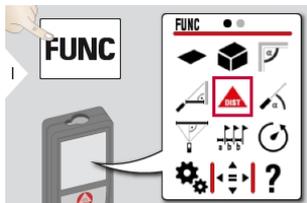
選択キーで、再確定

a) いいえ

b) はい

**i** リセットを選択すると、工場出荷時の設定になります。すべて設定した内容、メモリーは消去されます。

## 概要

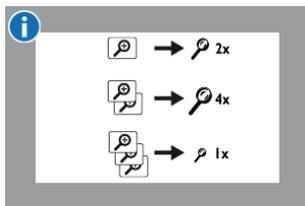


- ▲ 距離測定
- ◆ 面積測定
- 体積測定
- ◻ 部屋の角度
- Smart Horizontal Mode (水平距離測定)
- △ 水平
- ▽ ピタゴラス(3ポイント)
- ≡ ステイクアウト
- ⌚ タイマー
- ↕ ハイト(高さ)トラッキング\*\*
- 📁 メモリー
- ✂ Point to Point測定\*
- ✂ Point to Point測定水平\*
- ✂ SmartArea測定\*\*

\* Leica DST 360アダプタに接続されているときに有効になります。

\*\*この機能を利用するには、[Leica DISTO™Plan App](#)を使用してファームウェアのアップデートが必要な場合があります

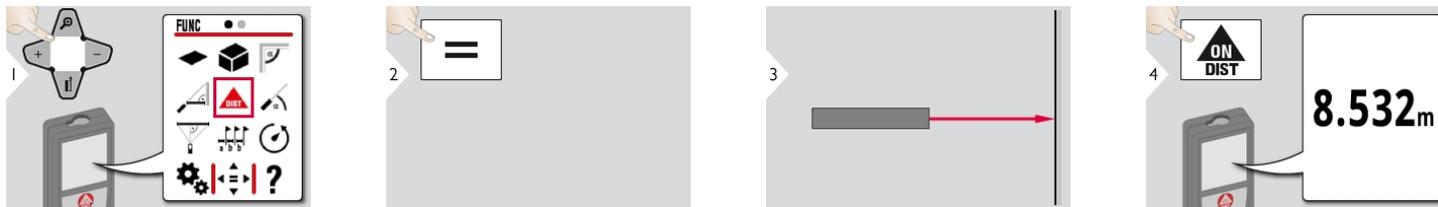
## ポイントファインダー



**i** ポイントファインダーは、屋外での測距時に役立つ機能です。内蔵ポイントファインダー（ビュースクリーン）を使用すると測定対象をディスプレイ上に表示します。レーザードットが視認できない場合でも、十字線中央部分に表示された測定対象を測定します。視差（レーザードット照射位置と十字線表示位置の視差）は、ポイントファインダーが近距離にある測定対象に対して使用された時に発生します。この場合、このエラーは、クロスヘアのシフトによって自動的に補正されます。ポ

**i** イントファインダーは、レーザー・ビームがオンのときは常にオンになっています。

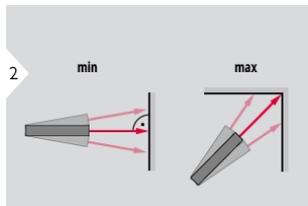
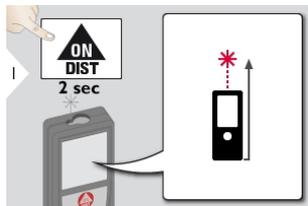
## 測距



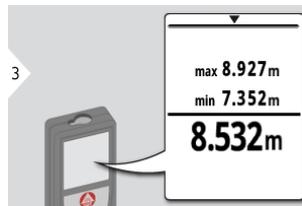
測距対象にレーザーを照射

**i** 測距対象の表面が、透明な液体、ガラス、発砲スチロール、半透過性表面物、高光沢表面の場合、測距エラーが発生します。測距対象がダーク系表面の場合、測距時間が長くなる場合があります。

## 最小値 / 最大値連続測定

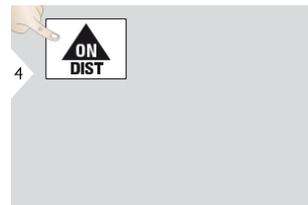


部屋の対角 (最大値)、水平距離 (最小値) の測距時に使用



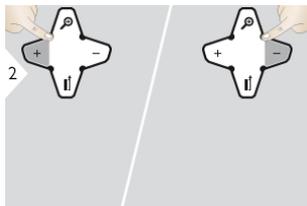
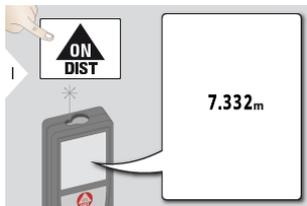
最小値、最大値 (min. max.) が表示され、最後の測定結果がメイン行に表示

**i** 下方方向ナビゲーションキーを使用して、Bluetooth®Smart経由で送信するメインラインの値を取得します。

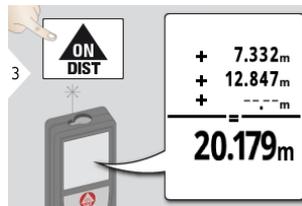


最小値 / 最大値連続測定の終了

## 加算/減算

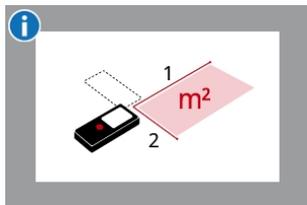


次の測定値を前値に加算、次の測定値を前値から減算

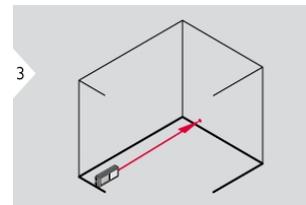
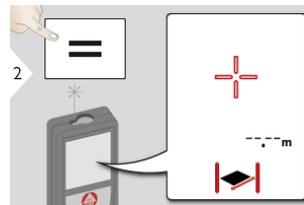
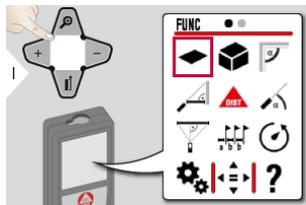


**i** 測定した各結果も表示されます。面積、体積でも同様に加算、減算が行えます。

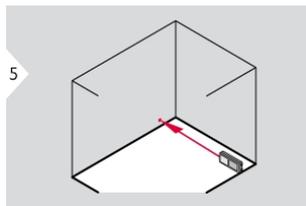
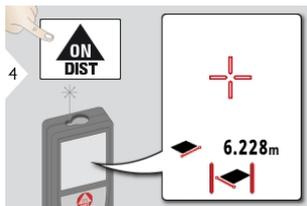
## 面積測定



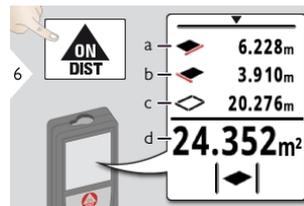
面積は、2つの距離を掛け、算出されます。



1辺目の測定対象を照射



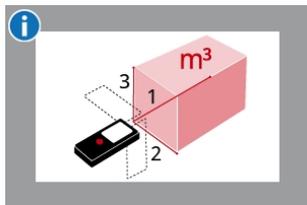
2辺目の測定対象を照射



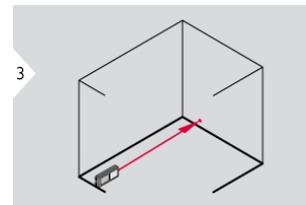
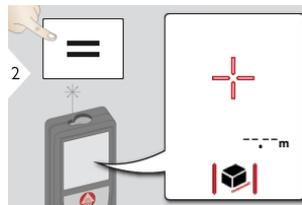
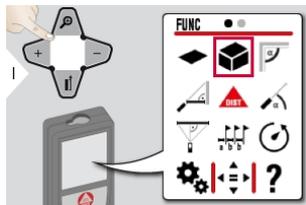
- a) 1辺目の距離
- b) 2辺目の距離
- c) 周長
- d) 面積

**i** 結果は、メイン行に表示されま  
す。室内寸法測定:1辺目の測  
定後、+または-を押した後に、  
測定、測定値に加算または減  
算、高さを測定して面積を計算  
します。  
下方向ナビゲーションキーを使  
用して、Bluetooth®Smart経由  
で送信するメインラインの値を取  
得します。

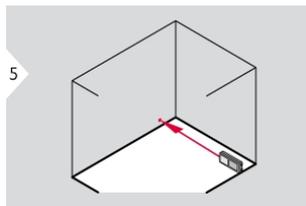
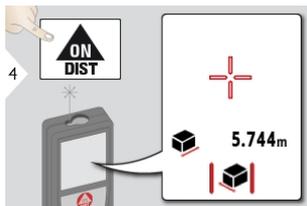
## 体積測定



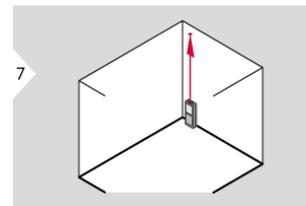
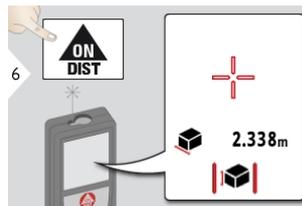
体積は、3つの距離を掛け、算出されます。



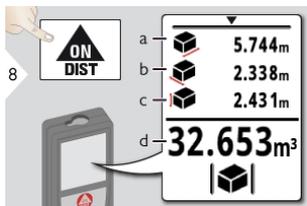
1辺目の測定対象を照射



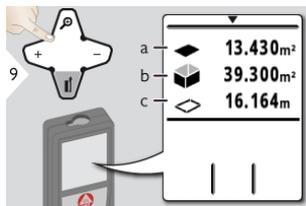
2辺目の測定対象を照射



3辺目の測定対象を照射



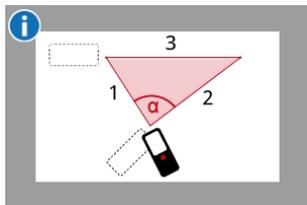
- a) 1辺目の距離
- b) 2辺目の距離
- c) 3辺目の距離
- d) 体積



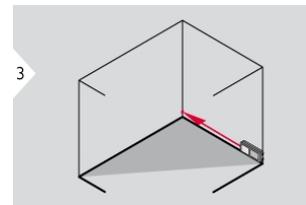
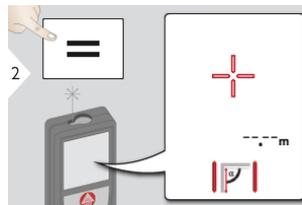
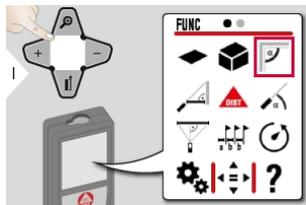
- a) 天井/床面積
- b) 壁面積
- c) 周長

**i** 下方向ナビゲーションキーを使用して、結果をさらに表示するか、Bluetooth®Smart経由で送信するメインラインの値を取得します。

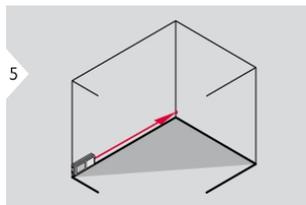
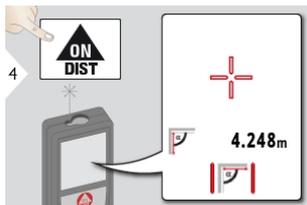
## 部屋の角度



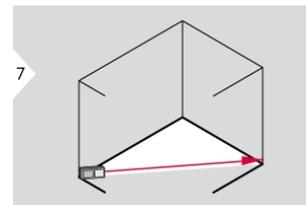
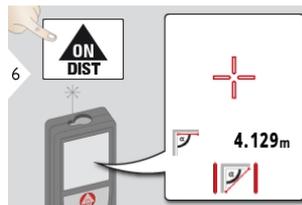
角度は、三角形の3辺の長さから三角関数 (cos) によって算出されます。



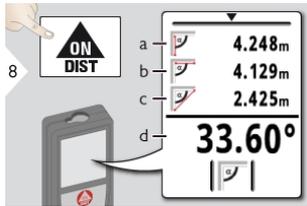
1辺目の測定対象を照射



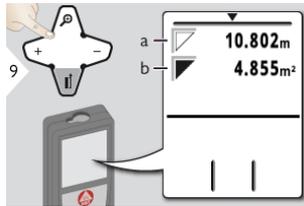
2辺目の測定対象を照射



3辺目の測定対象を照射



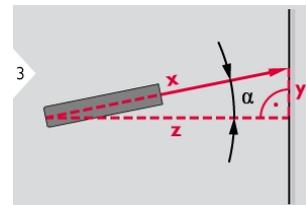
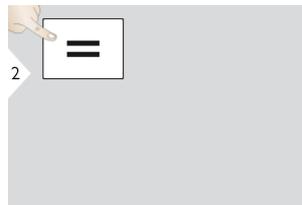
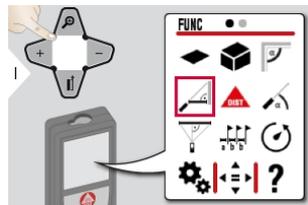
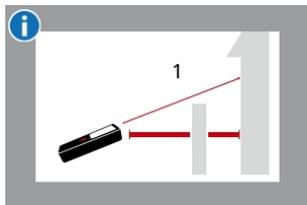
- a) 1辺目の距離
- b) 2辺目の距離
- c) 3辺目の距離
- d) 1辺目と2辺目との間の角度



- a) 周長
- b) 三角形面積測定

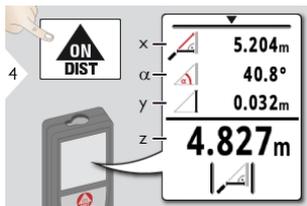
**i** 下方向ナビゲーションキーを使用して、結果をさらに表示するか、Bluetooth®Smart経由で送信するメインラインの値を取得します。

## Smart Horizontal Mode (水平距離測定)



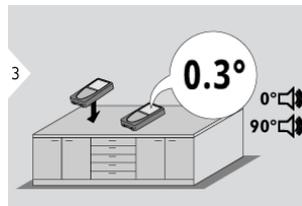
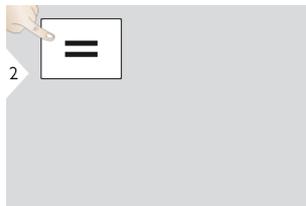
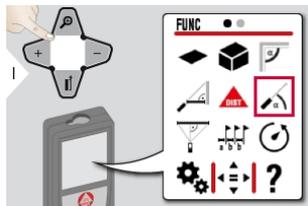
水平距離は、1つの距離と1つの角度から三角関数 (cos) によって算出されます。

ターゲットに照準 (最大360°、横傾斜 ±10°)。



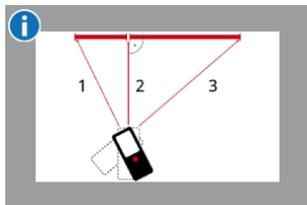
下方向ナビゲーションキーを使用して、Bluetooth®Smart経由で送信するメインラインの値を取得します。

## 水平

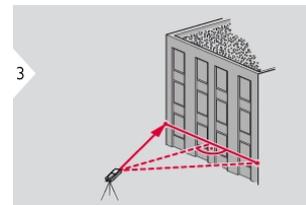
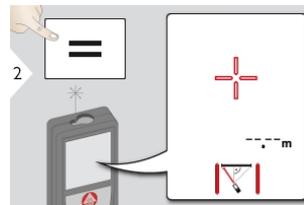
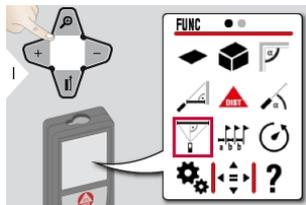


**i** 360°の傾きを表示します。0°と90°でピープ音が鳴ります。水平、垂直を調整する時に最適です。

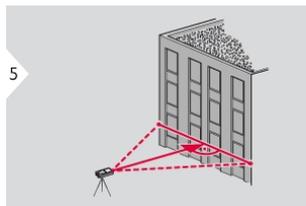
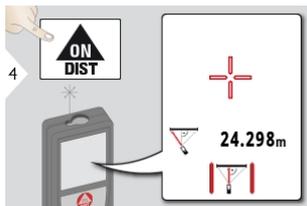
## ピタゴラス (3ポイント)



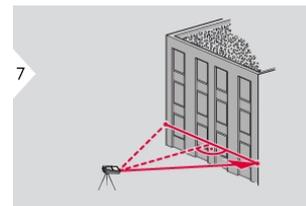
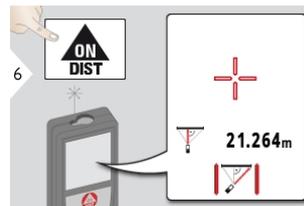
距離は、2つの直角三角形の3つの長さからピタゴラスの定理によって算出されます。



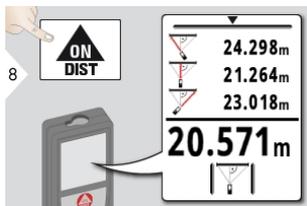
第1測定ポイントへレーザー照射



第2測定ポイントへレーザー照射



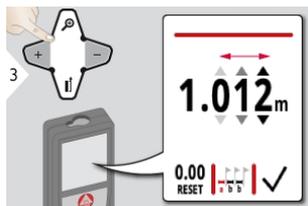
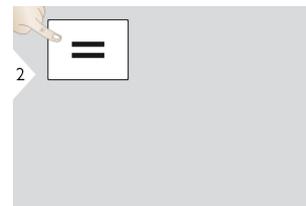
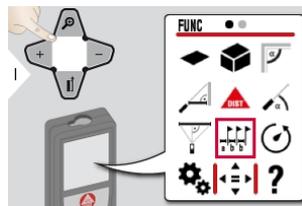
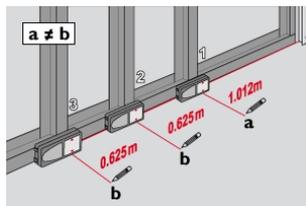
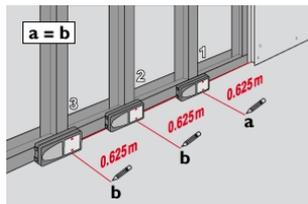
第3測定対象を照射



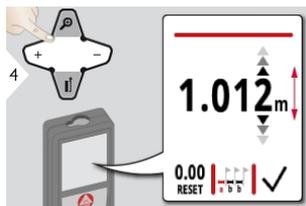
- i** 計算結果は、メイン行に表示表示されます。測定ボタンを2秒押すと、自動的に最大値、または、最小値連続測定モードに切り替わります。ピタゴラス測定は、間接的水平距離距離を測る時のみ、使用されることをおすすめします。高さ(垂直)測定は、角度センサーによる測定ファンクションで行うと、より高い精度で測定できます。下方向ナビゲーションキーを使用して、Bluetooth®Smart経由で送信するメインラインの値を取得します。

## ステイクアウト

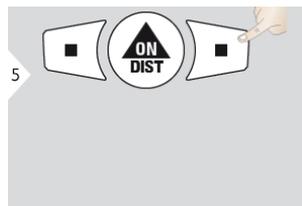
**i** 決まった長さのマーキングをするために、二つの異なる距離 (aと b) を入力することが可能です。



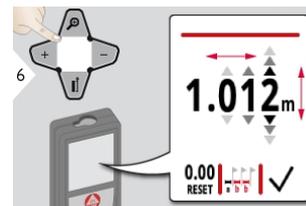
数値の設定



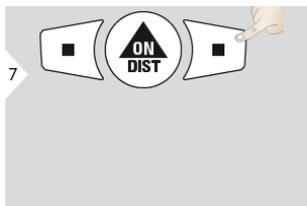
数値の最終調整



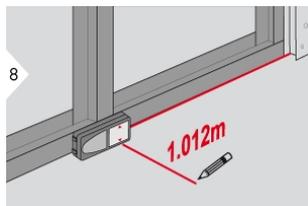
値「a」を決定



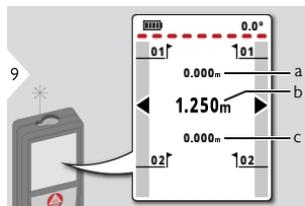
「b」値の設定



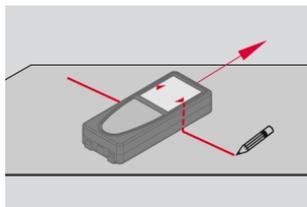
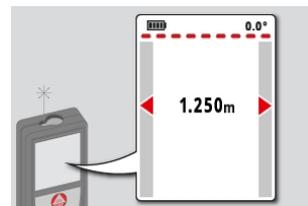
7 値「b」を決定し、測定開始



8 ラインに沿って本体を動かすと、次のステイクアウトポイントまでの距離表示



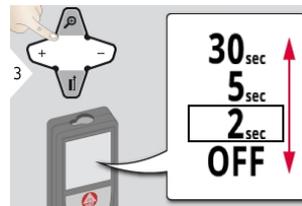
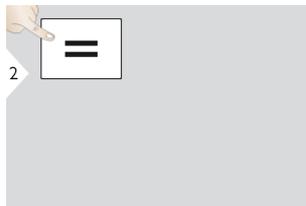
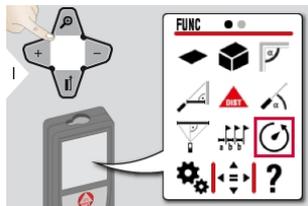
9 a) 第1杭打ち地点までの距離  
b) 目標までの現在の測定値  
c) 第2杭打ち地点までの距離



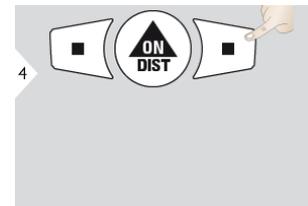
**i** ステイクアウトポイントが18mm未満に近づくとき、ステイクアウトポイントの値は固定され、側の矢印はマーキングの目的で赤に色が変わります。

**i** ステイクアウトは、CLEAR/OFFキー押下で終了します。

## タイマー



測定開始時間の設定

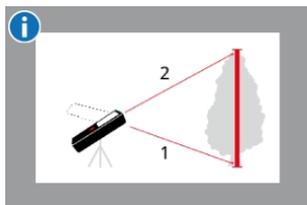


確定

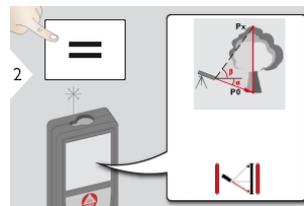
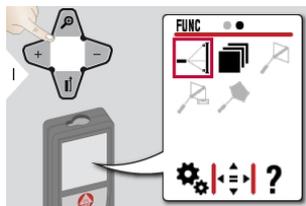
**i** オン/測定キーを押すと、カウントダウン後、測定します。

## ハイト (高さ)トラッキング\*

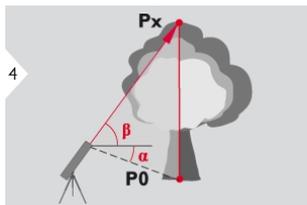
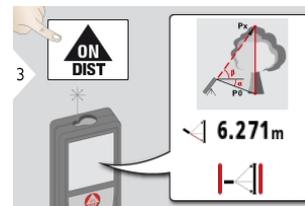
\*この機能を利用するには、[Leica DISTO™Plan App](#)を使用してファームウェアのアップデートが必要な場合があります。



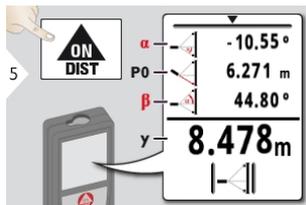
高さは、1つの距離と1つの角度から三角関数によって算出されます。



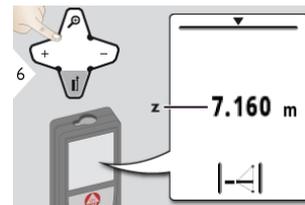
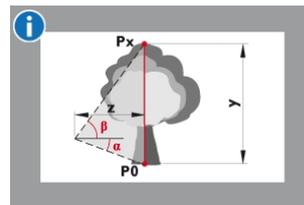
下部ポイントへレーザー照射



レーザー照射を上方向へ向け(本体を動かし)、照射位置までの高さ表示



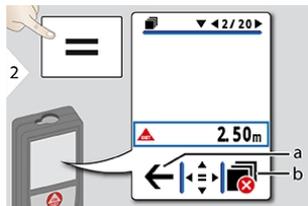
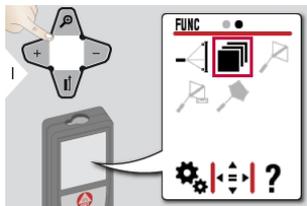
終了



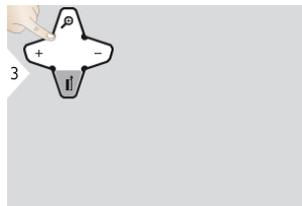
**i** 測定に必要な反射可能な測定対象がない建物や木の高さが測定できません。下部の測定時には、距離と角度が測定されます。この測定には、適切に反射する測定対象が必要です。上部の測定対象は、ポイントファインダーと十字線を使って照準します。この測定には、レーザーを反射する対象物がある必要はありません。角度の変化から、高さを測定します。  
下方向ナビゲーションキーを使用して、結果をさらに表示するか、Bluetooth@Smart経由で送信するメインラインの値を取得し

**i** ます。

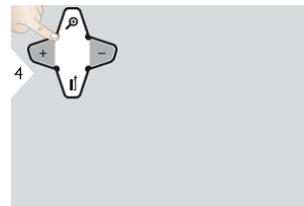
## メモリー (最新の20件)



- a) 測定モードに戻ります
- b) メモリを削除します



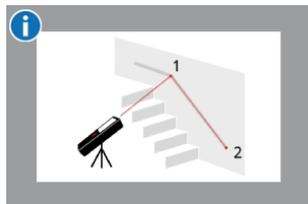
下ナビゲーションキーを使い、詳細情報の表示。



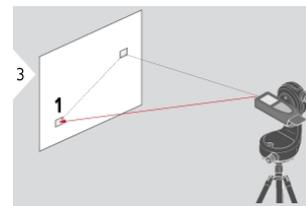
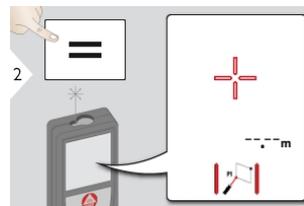
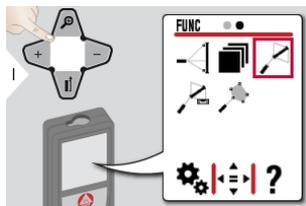
左右ナビゲーションキーを使い、数値のスイッチ。

## Point to Point測定\*

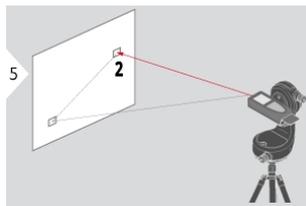
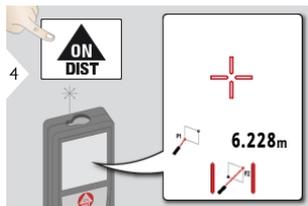
\* Leica DST 360アダプタに接続されているときに有効になります。



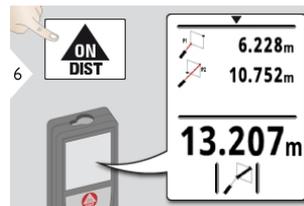
2点間距離は、2つの座標値(x, y, z)から算出されます。



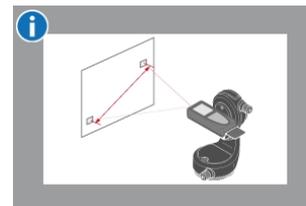
第1測定ポイント

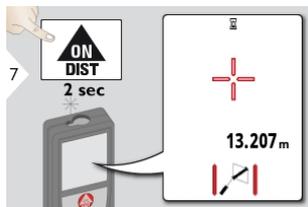


第2測定ポイントを照射



**i** 下方向ナビゲーションキーを使用して、Bluetooth®Smart経由で送信するメインラインの値を取得します。

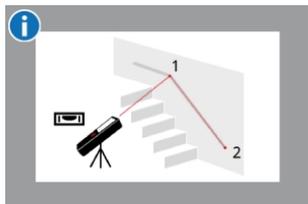




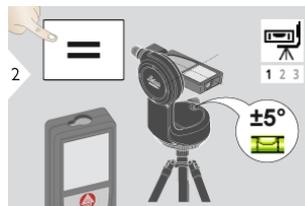
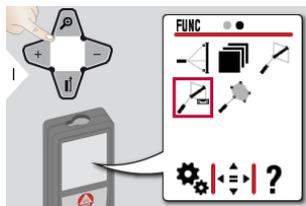
- i** 第2測定ポイントを連続測定で測定すると、2点間距離が表示されます。

## Point to Point測定水平\*

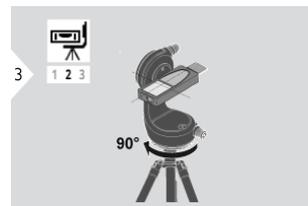
\* Leica DST 360アダプタに接続されているときに有効になります。



この測定では、より多くの測定データを取得できます。レベリング中はデバイスを動かさないでください。2点間距離は、2つの座標値(x, y, z)から算出されます。



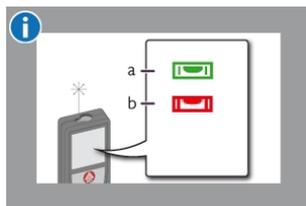
レベリング時は、デバイスを $\pm 5^\circ$ に設置。



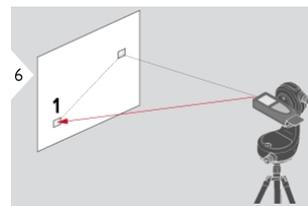
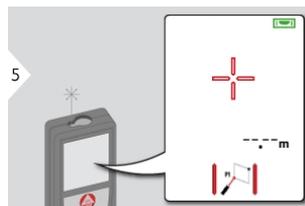
デバイスを時計回りに $90^\circ$ 回転、次の手順はディスプレイに表示。



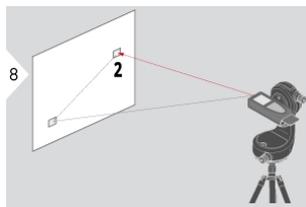
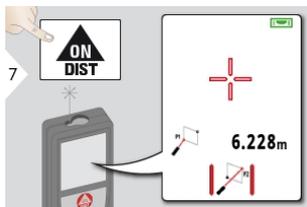
ディスプレイに表示される手順でデバイスを時計回りに $90^\circ$ 回転、OKの表示でレベリング終了



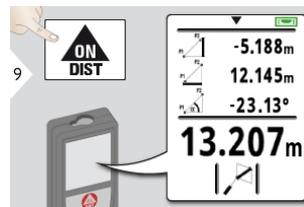
ステータス表示ライン:  
a)適切なレベリング状態  
b)不適切なレベリング状態



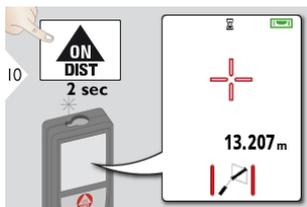
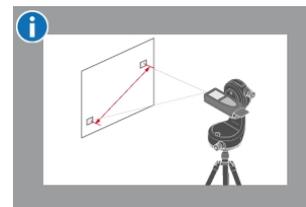
第1測定ポイントを照射



第2測定ポイントを照射



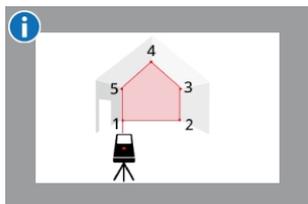
**i** 下方向ナビゲーションキーを使用して、Bluetooth@Smart経由で送信するメインラインの値を取得します。



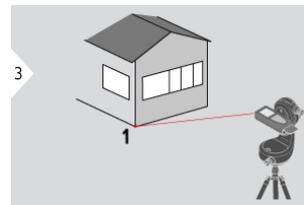
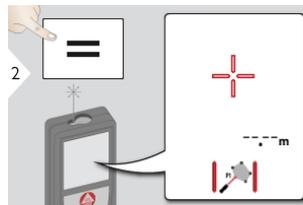
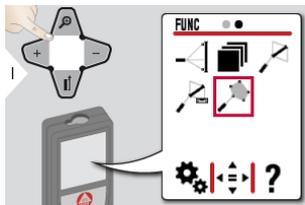
第2測定ポイントを連続測定で測ると、2点間距離が表示されます。

## SmartArea測定\*

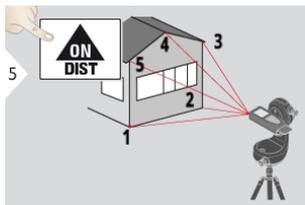
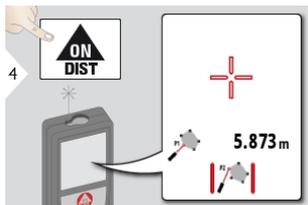
\* Leica DST 360アダプタに接続されているときに有効になります。この機能を利用するには、[Leica DISTO™Plan App](#)を使用してファームウェアのアップデートが必要な場合があります。



面積は、座標値(x, y, z)から計算されます。

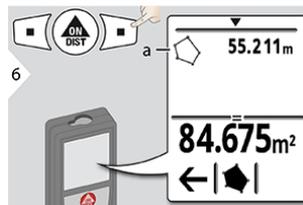


第1測定ポイントを照射



続けて各測定ポイントの測定 (最大30)。

=を押すと、面積が計算されます。



a)測定領域の周長

**i** 下方向ナビゲーションキーを使用して、Bluetooth@Smart経由で送信するメインラインの値を取得します。

## Bluetooth® Smart



DISTO™ Plan - Bluetooth®データ転送プログラムを使用してください。あなたのデバイスは、このアプリケーションを通じて更新することもできます。



Bluetooth® Smartをオンにします。スマートフォン、タブレット端末、パソコン等に接続します。測定値は、"Autosend"が有効になっている場合、測定直後に自動的に転送されます。結果を転送するには、次のソフトキーを押します。



iOS デバイスに接続して+または- キーを1秒間押すと、モバイルデバイスのディスプレイにキーボードが表示されます。いずれかのキーをもう一度押すと、キーボードが閉じます。

レーザー距離計の電源が切れると、Bluetooth®の電源もオフになります。低消費電力、革新的 Bluetooth® Smartモジュール(新 Bluetooth®規格 V4.0)は、Bluetooth® Smart Ready機器と接続可能です。すべてのBluetooth®内蔵機器は、低消費電力 Bluetooth® Smart Moduleをサポートしていませんのでご注意ください。



無料DISTO™ソフトウェアに関する保証やサポートの提供はありません。弊社では、無償ソフトウェアの使用から発生したいかなる問題についての責任は負いません。また、ソフトウェアの修正やアップデートの義務も発生しません。幅広いソフトウェアはホームページでご確認いただけます。Android®、iOS用アプリは、特定のソフトウェアショップで入手可能です。詳細については、弊社ホームページを参照してください。

コード	原因	対処方法
156	横の傾きが10°以上	横方向に傾かないように、本体を固定します。
162	キャリブレーションエラー	本体の設置場所が水平であることを確認し、手順通りに再度行います。測定エラーが繰り返し表示される場合は、ディーラーにお問い合わせください。
204	計算エラー	再度、正しい手順で測定します。
245	データ転送エラー	デバイスとの接続をし直し、データ転送をしてください。
252	温度が高すぎます	使用温度範囲内で使用します。
253	温度が低すぎます	使用温度範囲内で使用します。
255	受信した信号が弱すぎる、測定時間長すぎます。	測定対象面を変更します。(たとえば、白い紙等)
256	受信信号が強すぎます	測定対象面を変更します。(たとえば、白い紙等)
257	周囲が明るすぎます	影になっている測定対象を選びます。
260	レーザー光が遮断されました	再度、測定をします。
301	本体が動いたため、水平調整が無効	再び水平調整します。不適切に水平調整された状態でも測定が可能ですが、精度が落ちます。
303	Leica DST 360アダプタのエラー	再度、測定をします。

\*本体の電源をオン/オフした後もメッセージコードが継続して表示される時は、販売店にお問い合わせください。

## 注意

- 清掃は、水を湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。
- 本体を水につけないでください。
- 刺激性の強い洗剤や溶液を使用しないでください。

## 国際制限保証

Leica DISTO™にはLeica Geosystems AGの2年保証が提供されます。保証延長を受けるためには、購入日の8週間以内に、<http://myworld.leica-geosystems.com>でユーザー登録する必要があります。

登録されていない場合は、購入日から2年間の保証が適用されます。

国際制限、保証に関する詳しい内容はウェブサイト[www.leica-geosystems.com/internationalwarranty](http://www.leica-geosystems.com/internationalwarranty)にあります。

**i** 製品の管理者は、すべてのユーザーがこれらの指示に従い、厳守することを確認してください。製品は熟練者のみに使用することができます。

### 凡例

使用される記号の意味は次のとおりです。

#### 警告

死亡や重症を引き起こす可能性のある危険な状態または不適切な使用を示します。

#### 注意

傷害、材質的、金銭的および環境の損害を引き起こす可能性のある危険な状態または不適切な使用を示します。

**i** 技術的に正しく効果的な方法で製品を使用するため、厳守すべき事項を示します。

## 使用許可事項

- 距離測定
- 傾きの測定
- Bluetooth®でのデータ転送

## 禁止事項

- 説明書を読まずに使用すること。
- 明記された範囲外で使用すること。
- 安全装置をオフにしたり、説明や危険に関するラベルをはがしたりすること。
- ドライバー等の道具を使用して分解すること。
- 明確な承認を受けていない他社製アクセサリを使用すること。
- 製品の改造、または、転用をすること。
- 他者にレーザー光を故意に照射すること。暗所でも同様に照射しないこと。
- 安全が十分に確保されていない測定現場で使用すること。(路上、建設現場での測定等)
- 梯子を使用している場合や、稼働中の機械の近く、保護されていない機械部品や設置近くで測定する場合に、足場の上で故意または無責任な行動をとること。
- 太陽光を直接照準すること。

## 使用上の危険事項

### 警告

製品に不具合がある場合、または落下させた場合、誤使用や改造をした場合は、間違った測定がされる場合があります。定期的に測定値をテストしてください。特に、通常と違う方法で使用した後、重要な測定の前後や測定中には、テストを実施してください。

### 注意

製品をご自身で修理することは、決してしないでください。損傷がある場合は、お近くの販売店に連絡してください。

### 警告

許可なく製品の変更や改造した場合、ユーザーの製品使用権限が無効になる場合があります。

### 注意

バッテリーの充電には、製造元が推奨する充電器のみを使用してください。

## 使用制限

 **テクニカルデータ**を参照してください。製品は、人間が通常活動できる環境での使用に適しており、爆発の危険がある場所や、過酷な環境では使用しないでください。

## 責任範囲

### 製品の製造に関する責任:

Leica Geosystems AG  
Heinrich-Wild-Strasse  
CH-9435 Heerbrugg  
インターネット: [www.leica-geosystems.com](http://www.leica-geosystems.com)

Leica Geosystemsは、マニュアルを含む安全に使用できる製品を供給する責任があります。

Leica Geosystemsは、他社製アクセサリ製品に対する責任を負いません。

### 製品管理者の責任:

- 取扱説明書に記載された製品の安全上の注意と指示を理解すること。
- 事故防止のための使用する地域の安全規則を熟知すること。
- 常に無断で製品を使用されないようにすること。

## 廃棄処理

### 注意

使用済の古い電池は、家庭ごみと同様の扱いで捨てないでください。環境保護を重視し、破棄する電池は、国や地方自治体の規定によって定められた回収場所を持って行ってください。

 製品を家庭ごみと同様扱いで破棄しないでください。製品を破棄する時は、所在国における法律に従い、適切に行ってください。

製品の具体的な処理と廃棄物の管理情報に関しては、弊社ホームページでダウンロードが可能です。

## 電磁両立性 (EMC)

### 警告

製品は、最も厳しい規格および規則の条件に適合しています。しかしながら、他の機器に干渉を及ぼす可能性があります。

## 日本の電波法準拠

この装置は、日本の電波法電波法に基づき認可されています。デバイスを改造すると、付与された指定番号は無効になります。

## Bluetooth®内蔵製品の使用

### 警告

他の機器、設置環境（例えば、脈拍調整装置や補聴器などの医療環境）、そして飛行機で電磁波干渉現象を起こすことがあります。また、人間や動物に影響を与えることがあります。

### 予防措置:

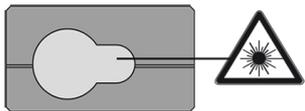
この製品は、最も厳しい基準や規制に準拠していますが、人や動物に害を及ぼす可能性は完全に排除することはできません。

- ガソリンスタンド、化学工場、爆発の危険がある場所、爆発が発生している場所で製品を使用しないでください。
- 医療機器の近くで使用しないでください。
- 飛行機では使用しないでください。
- 長時間、身体の近くでは使用しないでください。

## レーザークラス

本製品は、可視光レーザーを本体前面から照射します。次の規格に基づき、クラス2製品です。

- ・ IEC60825-1:2014「レーザー製品の放射安全性」



## レーザークラス2製品

レーザーを覗き込んだり、周りの人にレーザーを向けたりしないでください。通常、まばたきを含む嫌悪反応により、目は保護されます。

### 警告

光学補助機器（たとえば、双眼鏡や望遠鏡）で、レーザーを直視することは危険です。

### 注意

レーザーを直視することは危険です。目がくらみまですので、他の人に向けないでください。アプリまたはソフトウェアを使用して製品を遠隔操作する場合は、レーザービームの方向に特に注意してください。いつでも測定を開始することができます。

波長

620 - 690 nm

安全規格のための最大放射出力電力

< 1 mW

パルス周期

> 400 ps

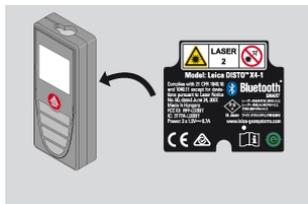
パルス反復周波数

320 MHz

ビーム発散

0.16 x 0.6 mrad

## ラベル表示



記載されている内容(仕様、イラスト等の描画、表記内容)は、予告なく変更になる場合があります。

